



動物

細井藤夫 議員 (WAKABA)

すべての動物を大切に

答弁…動物愛護の精神に基づく啓発に努める

問 ペットショップからペットを迎え入れるのは、「モノとして買う」のではなく、「家族として飼う」ことであってほしい。どんな動物であれ「わが家の家族」として迎えて、終生を大切に過ごして欲しい。飼い主や検討している方に、行政としてできることはないか。

答 ボランティア団体と連携し、連絡ボードの設置や屋外イベントの開催により、ペットの適正な飼育方法や正しい知識の周知・啓発に努めている。また、飼育状況チェックリストを活用した研修を実施し、飼い主が安心してペットと暮らすための支援を行っている。

ペットとして飼われる
オカメインコ

水道 水道水の安全性は

答弁…広報しらおか等に掲載していく

問 水道や川の水からの有機フッ素化合物(PFAS*)の検出が全国各地で相次いでいる。

本市では、しっかりと水質検査を行っているが、水道水が安心・安全に使用できることを示すためにも、検査結果を積極的に公開すべきだが、いかがか。

答 水質検査の結果は、検査項目に応じて広報しらおか又は市公式ホームページに掲載し、市民にお知らせしている。PFASの検査結果は、市民の関心の高まりなどを踏まえ、今後は広報しらおか及び市公式ホームページに掲載していく。

*有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物を総称して「PFAS」と呼ぶ。これらの物質は、難分解性、高蓄積性、長距離移動性という性質があるため、国内で規制やリスク管理に関する取組が進められている。



福祉

中山廣子 議員 (公明党)

尊厳を守る
終活支援事業の導入を

答弁…本市の実情に合った終活支援を進める

問 人生の最後を考えた時の不安を払拭するため、「エンディングプランサポート事業」と「終活情報登録伝達事業」の2つの終活支援事業を導入し、心配事を早めに解決して、生き生きとした人生を送れるように、そして尊厳ある生き方を実現できるように支援しては。

答 高齢者人口の更なる増加に伴い、終活支援の必要性はますます高まっていくものと思われる。

まずは、終活セミナーを開催して終活に対するニーズ把握に努め、本市の実情に合った終活支援を調査・研究していく。



保険 「マイナ保険証」の正しい情報発信を

答弁…HP等を活用し情報発信に努めていく

問 本年12月から、現行の「健康保険証」は「マイナンバーカード」による保険証利用を基本とする仕組みに移行していく。市民が安心して「マイナ保険証」を利用できるよう、正しい情報を丁寧に、わかりやすく発信していくことが必要。市の取組を伺う。

答 本年7月に国民健康保険及び後期高齢者医療の被保険者に納税通知書等を発送した際に、マイナ保険証の登録手続等が掲載されたリーフレットを同封し、利用促進を図った。今後もHP等^{ホームページ}を活用し、マイナ保険証のメリットについて丁寧な情報発信に努めていく。